

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	杉本有紗	職名	講師	学位	人間環境学 (修士)
----	------	----	----	----	------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
臨床心理学 心理学的介入 心理リハビリテーション	高齢者臨床 臨床心理学的援助 役割意識 心理劇 施設職員

研 究 課 題
・認知症高齢者の臨床心理学的理解及び臨床心理学的援助 ・対人援助場面における自己と他者の行動及び心理の理解を促す研修のあり方 ・児童養護施設職員のストレスの理解と支援

担 当 授 業 科 目
初年次セミナーⅠ (前期) (福祉学科) ヒューマンサービス基礎演習 (前期) (福祉学科) 心理学と心理的支援Ⅰ (前期) (福祉学科) 発達心理学Ⅱ (前期) (福祉学科) カウンセリング論 (前期) (福祉学科) カウンセリング演習 (前期) (福祉学科) 発達臨床心理学演習 (前期) (福祉学科) 高齢者支援学Ⅰ (前期・集中) (看護学科・福祉学科・栄養学科) 高齢者支援学Ⅱ (前期・集中) (看護学科・福祉学科・栄養学科) 初年次セミナーⅡ (後期) (福祉学科) 心理学と心理的支援Ⅱ (後期) (福祉学科) 発達心理学Ⅰ (後期) (福祉学科) 社会心理学 (後期) (福祉学科) 高齢者臨床心理演習 (後期) (福祉学科) 子ども家庭支援の心理学 (後期) (福祉学科) 保育相談支援 (後期) (福祉学科) 専門研究Ⅰ (通年) (福祉学科) 専門研究Ⅱ (通年) (福祉学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 初年次セミナーⅠ 】 本演習では、1年生を対象とし、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。 2021年度は17～18名のグループを1グループあたり4回、全3グループを担当した。発達心理学の新書を題材に、課題図書の見直し、批判的読解、レポートの書き方についてスモールステップで課題を課した。対面授業ではグループワークを行い、ディスカッションの中で他者と自己の読み方、気づき方、書き方などの違いを認め合い、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。
授業科目名【 ヒューマンサービス基礎演習 】 本演習では、ヒューマンサービスの基礎となる対人場面での援助につながる自己理解の向上を目指した。 2021年度は全1年生をAクラス3グループ、Bクラス3グループの計6グループに分けた。その結果1グループ約15名で構成された。教員3名は、各々Aクラス1グループ、Bクラス1グループの計2グループを

担当した。対面とオンライン（コロナ流行により一時的に変更）のコミュニケーション課題を通して一人ひとりの学生が対人場面における自己のスキルや心理への気づきが得られるよう促した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況を把握し、グループの組み合わせを工夫するなど、学生が積極的に課題に取り組めるよう心掛けた。
授業科目名 【 心理学と心理的支援Ⅰ 】 本講義では、心理学の研究法、発達心理学、人格心理学、臨床心理学の基礎となる理論や著名な研究、導き出された理論等、心理学の概論について解説を行った。また、心理的支援について解説を行った。 プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。
授業科目名 【 発達心理学Ⅱ 】 本講義では、青年期から老年期までの生涯発達心理学について、特に老年期の心身の発達や様々な理論を中心として解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。本年度は遠隔授業であったため、毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。
授業科目名 【 カウンセリング論 】 本講義では、カウンセリングの理論、カウンセリングの基本的な進め方と基礎的な技法について解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。学生同士でロールプレイングを行ったり、内容について感想や質問を出し合う中で、カウンセリングの基本についての学習を進めた。学生が質問しやすい雰囲気を作るよう心掛けた。
授業科目名 【 カウンセリング演習 】 本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。
授業科目名 【 発達臨床心理学演習 】 本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。
授業科目名 【 高齢者支援学Ⅰ 】 本講義は、看護、福祉、栄養の3学科6教員により、看護、福祉、栄養の3学科の学生を対象に、アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法について、解説と実技指導を行うものである。講義では、高齢者の心理的発達、高齢者の社会参加とその臨床心理学的意義についての解説を担当した。アイスブレイクを行い、3学科の学生合同のグループでのPBL（問題解決型学習）が円滑に進むよう促した。
授業科目名 【 高齢者支援学Ⅱ 】 本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。
授業科目名 【 初年次セミナーⅡ 】 本演習では、1年生を対象とし、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。 2021年度は17～18名のグループを1グループあたり6回、全2グループを担当した。心理学研究の研究論文を課題図書とし、課題図書の講読、批判的読解、レポートの書き方についてスモールステップで課題を課した。対面授業ではグループワークを行い、ディスカッションの中で他者と自己の読み方、気づき方、書き方などの違いを認め合い、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。

授業科目名 【 心理学と心理的支援Ⅱ 】 本講義では、学習心理学、認知心理学、社会心理学等の基礎となる理論や著名な研究等、心理学の概論について解説を行った。 プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。授業の初めに、前回の授業の振り返りと共に、必要に応じて学生の小レポートに多かった記述を紹介したり、学生の質問への回答を行うなどすることで、学生の知識の定着が進むよう心掛けた。
授業科目名 【 発達心理学Ⅰ 】 本講義では、胎児期から青年期までの生涯発達心理学について、特に乳幼児期の心身の発達や様々な理論を中心として解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。本年度は遠隔授業であったため、毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。
授業科目名 【 社会心理学 】 本講義では、社会心理学の基礎となる理論や著名な研究、社会心理学の概論について解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。日常生活との接点を考えることが、理論の理解に結び付きやすいため、毎回、紹介した理論が日常生活ではどのような形で現れるかを考えて例示するよう促し、知識の定着を図った。
授業科目名 【 高齢者臨床心理演習 】 本演習では、高齢者臨床におけるアセスメントや心理面接についての指導を行った。発達の側面からの理解を振り返った上で、臨床場面における高齢者の心理について考えながら、アセスメントの手順、アセスメントの際の配慮について演習を行った。また、認知症高齢者の心理について文献を通して理解した上で、心理療法の目的、手順、具体的配慮、その効果について、事例検討を通して理解を深めた。
授業科目名 【 子ども家庭支援の心理学 】 本講義では、生涯発達心理学、家族・家庭の機能や構造、支援を必要とする家庭についての講義、解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。遠隔授業であったため、毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。
授業科目名 【 保育相談支援 】 本講義では、保育相談支援の考え方、支援の実際についての講義、解説を行った。また、事例検討を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。学生同士が小グループでディスカッションを行えるよう促し、理解を深められるよう工夫した。遠隔授業であったため、毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。
授業科目名 【 専門研究Ⅰ 】 本年度は受講する学生は0名であった。
授業科目名 【 専門研究Ⅱ 】 本年度は受講する学生は0名であった。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本心理臨床学会	会員	2001 年～現在に至る
日本臨床心理劇学会	監事（2012 年 4 月～現在に至る）	2001 年～現在に至る
日本リハビリテーション心理学会	会員	2002 年～現在に至る
日本臨床心理士会	会員	2004 年～現在に至る
日本発達心理学会	会員	2007 年～現在に至る
日本心理学会	会員	2008 年～現在に至る
九州臨床心理学会	北九州地区委員（2021 年 4 月～現在に至る）	2021 年～現在に至る

2021 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター 大分県中津児童相談所 日本発達心理学会ニューズレター第95号（特集「高齢者の心理学」に「高齢者の心理臨床」について執筆した。）	研究員 非常勤心理判定員 日本発達心理学会会員	2021年4月～2022年3月（1年間） 2021年4月～2022年3月（月1回） 2022年2月28日発行

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
（大学） 公開講座委員会 委員 職員研修委員会 委員 （学科） ヒューマンサービス基礎演習 担当 福祉学科ニューズレター ワーキンググループメンバー